

2018.9
september
Vol.77



暗門の滝

日本初の世界自然遺産に登録された、白神山地。その广大で原生的なブナ林を象徴するパワースポットが、西目屋村にある「暗門の滝」だ。

この美しい神秘的滝へ向かう「暗門溪谷ルート」は、アクアグリーンビレッジANMON付近の「世界遺産地域入口の標柱」を起点に、岩木川の支流・暗門川沿いに上流へ向かって歩くコース。

手前から第三の滝、第二の滝、第一の滝へと辿る上級者向けで、これまで溪流の中を歩いて渡らなければならなかった。

しかしこの夏、川に木板を渡すなどの整備をしたことで、第二の滝までは初心者でも安心して散策できるようになった。

春は新緑を愛でながら、夏は涼感たっぷりの緑に包まれ、秋は赤や橙色に紅葉した木々が大自然へと誘ってくれる。

聞こえてくるのは、水のせせらぎ、風になびく木々のささやき、鳥や虫たちの歌声など、自然の音だけ。

9月16日には暗門祭が行われ、豊かな恵みに感謝する。

発行編集／青森県市町村職員退職手当組合

〒030-0812 青森市堤町二丁目1番1号
TEL.017-734-1678

くみあい 情報板

平成29年度
一般会計決算概要

歳入	負担金	12,051,196
	財産収入	18,892
	繰越金	3,659
	諸収入	2,405
	計	12,076,152

(千円)

歳 出 (千円)	議 会 費	348
	総 務 費	79,738
	給 付 費	9,008,081
	計	9,088,167

歳入歳出差引額 2,987,985千円 うち支払準備基金繰入額 2,980,000千円 翌年度繰越額 7,985千円

退職事由別給付状況

退職事由	人員(人)	金額(千円)
普通退職	167	525,977
長期勤続退職	24	295,882
定年、応募認定退職	374	7,806,511
特別職の退職	45	379,711
計	610	9,008,081

組合ホームページをご利用ください

<http://aomori-taite.jp>

(主な内容/概要・例規集・様式・事務の手引・
試算・構成団体決算状況・リンク集・お知らせ)



□の中の文字を並べると、ある言葉ができます。
(ヒントは「やすらぎ」の中にあります。)

はがきにクロスワードの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、所属市町村名、「やすらぎ」へのご意見、ご感想、メッセージを添えて、青森市堤野2丁目1-1 青森県市町村職員退職手当組合「やすらぎ」編集室までお送りください。正解者10名様に抽選で素敵なるプレゼントを差し上げます。

締切／平成30年10月末日消印有効

1		2	3			4	5	6
		7			8			
9	10		11	12				
13				14			15	
16			17			18		
	19	20			21			
22		23					24	25
26	27				28	29		
30				31				

【タテのカギ】

1.「柘榴石」(誕生石) 2.「○○に冠を正さず」 3.「○○○に釜を抜く」
4.杏(果物) 5.お相撲の準備運動 6.エスプレッソにクリーム状に泡立てた牛乳を加えたコーヒー 8.壁や床などに張り付ける装飾用保護材 10.
「棕馬」 12.マグロの種類のひとつ「○○○マグロ」 15.然るに降り、すぐに止んでしまう雨 17.イベント、セレモニーなどに使われる飾り玉、割ると中から垂れ帯が 20.パソコンやスマホのディスプレイに表示される絵記号 21.ホルモン焼きの定番「○○○○刺し」(四つある牛の部位のひとつ) 22.昨年4月、西目屋村の廃校舎を利用して作られた施設「○○○」 25.著名人、有名な人の言葉を集めたもの 27.「○○主義」とは、自分勝手な人のこと 29.「屢次」(度々繰り返ること)

【ヨコのカギ】

1. 田子町の特産品を扱う「○○○○○センター」は、国際交流の起点に
4.『海驢』7.『牡蠣』8.田子町の昔の農村生活の空間を再現した観光ス
ポット「○○○○○創造村」9.『合歓』11.『狐の○○○○○』（天気雨）
13.『土筆』14.建て物本体から張り出した庇や屋根のないスペース
16.『胡蝶』17.『○○は禍ひのもの』18.島根県の小京都 19.『○○○
式海岸』（若手三陸海岸）21.『柑橘類の大トロ』23.太宰治の小説に
登場する「メロス」のように極めて足が速い人 24.大きく口を開けたり、
笑いすぎるとはずれることもあるよ 26.中村橋之助など歌舞伎役
者が所属する屋号のひとつ、『○○○○屋』 28.『樞柁』、津輕の詩人、高
木恭造の詩集のタイトルにも 30.『○○○東西』 31.アルプスの少女
○○○

前回パズルの当選者

厳正な抽選の結果、次の10名様が当選しました。おめでとうございます。
(応募数68名)

・〈前回パズルの解答〉

ジ ヨ ウ ヤ ト ウ

・〈所属市町村名・氏名〉・

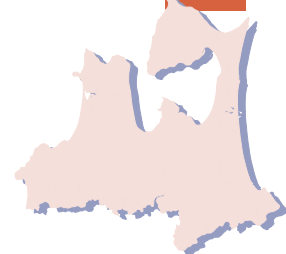
五所川原市	今まゆみ	七戸町	豊川直樹
五所川原市	山田安希子	五戸町	村上早苗
三沢市	須田山まさ子	中部上北広域事業組合	沼尾裕美
藤崎町	金野愛生	一部事務組合下北医療センター	森あやこ
野辺地町	桑野広子	つがる西北五広域連合	村田朋子

発行編集／青森県市町村職員退職手当組合

「ガリストごはん」の連鎖で、田子町を盛り上げたい！

田子ニンニク料理推進協議会 会長

佐藤 剛大さん (43歳)



田子町が誇る3大食材(ニンニク・肉・米)を組み合わせて開発した、ニンニクフルコースランチ「田子ガリックステーキごはん」(略称・田子ガリストごはん)」。この夏、デビューから2年で5万食を達成した。そのリーダー的存在として奮闘してきたのが、田子ニンニク料理推進協議会会長で、「勇鰐」2代目の佐藤剛大さんだ。

地元、田子町生まれの佐藤さんは、

県立田子高校を卒業後、食の最高峰

と言われた博多や、大阪、銀座で会席料理を学び、24歳で帰郷。村にある創遊村、ガリックセンターのレストランなどで働いたあと、父親が他界し4年前に跡を継いだ。

「田子ガリストごはん」への取り組みは、今からちょうど4年前。田子町で地場産品を使ったご当地グルメを作りたい、深浦、平内、中泊に続けとスタートした。

「最初は気が向かなかったんです。跡を継いだばかりだったので寿司屋として頑張りたい。田子牛は肉だから関係ないなと思ってたんです」と笑う。

しかし開発会議が始まり「火が付いていました。自分は料理に対してはもちろん、生まれ育った地元への想いがある。そ

れが評価する人に、このくらいのレベルでいいのかと言われると、じゃあ、やってやろうじゃないか、と熱くなっちゃって…」と明かす。

はじめは井物の予定だったが「プレゼンのとき、当時は珍しかった牛のにぎりを出したところ、これだつてことになって、今のスタイルに決まりました」と佐藤さん。試作段階でみんながたくさんの料理を持ち寄ったことから「田子ガリストごはん」は、毎年前菜を変えるというスタンスになったという。

初年度は、3店舗で年間24000食。1日1店舗30食以上販売。「これは嬉しいというより驚き。ご当地グルメの全国組織からMVPをもらってもピンとこなかったけど、1日100食は驚異だったらしいです」。

2年目は、食材集めや仕込みなどリスクも経費と考え開発し、田子牛や田子産の米に合う冷めても旨い酢飯など、仕込んでから数時間後に味わってもおいしいものにこだわった。

そして3年目の今年は、これまでの反省をふまえ、色映え、インパクトを考慮し、コース料理へと変革。どの年代にも親しまれ、夜のお酒にも合うようトッピングだけでも味わえるものにした。



「だけど数字は正直です。1年目がずば抜けていたこともありすが、初年度1日100食が、今は1日60食。でも町外から来てくれるお客さんは増えているんです。アイテムはいいものができた。ならば、今後は町内のお客さんを、いかに取り込むか。地元の人が食べたことがないというのは死活問題だと思うんです」。

大変だったのは「本業の寿司屋とし



ての機能。寿司屋なのに店は肉の匂いがするんだもの」と振り返る。

しかし、取り組んで良かったこともある。「それは何より田子町の知名度が上がったこと。始めた頃は田子ってどこにあるのって感じだったから。また、何が町に不足しているのか考えるきっかけになり、町内で協力の輪が広がった。田子は自然豊かで食べ物もおいしい。自分はそれがあたり前のように育った。でも都会に出て、あたり前じやないことがわかった。田子は無数の可能性を持った町。今後は、若い世代にも田子の魅力を伝え、ガリストが良い連鎖をして田子の文化となり、町がもっと盛り上がりつつ欲しい」と語った。



清水典子の首都圏で

見つけた！あのもり人。

弘前市出身

スイーツコレクター AI OKADA さん

明るく強く男前に生きて 自由自在な遊び心で創る

よく動く愛らしい瞳とその目力に

みとれた。全身から明るいパワーが放たれている。「毎日楽しいです！」と切り切るAIさんの生き方は素敵だ。

Instagramで発信されるAIさんのアイシングクッキーのチャームグなこと。ただ愛らしいだけではない、くすりと笑わせるセンスと絶妙な色合い。それは人を楽しませたい、笑わせたいと思う津軽人の気質に通じる。

AIさんがデザインし、作り上げるアイシングクッキーは芸能人やさまざまな企業からも愛され、注文は引きも切らない。そもそもAIさんはどんな人？

●楽しかった高校時代

弘前市の郊外、独狐にあるリンゴ農家で育った。上に2人の兄がいる末っ子。市街地にある弘前実業高校まで自転車を通ったという根性の持ち主だ。「兄たちとけんかをする中で鍛えられました。負けん気が東京で役に立っているかも。強くないと東京では上がれませんか」と男前だ。

高校時代は家庭学科で学ぶ一方、服飾デザインを学ぶ友人らと企画し、市内のギャラリィで手作りファッションショーをするなどバワフルな学生時代を過ごした。

「待つていても何も起きないから、自分たちで企画する。自分でやるしかないということ。地元で学びました」と話す真っ直ぐな眼差しがまぶしい。ファッションへの造詣がアイシングクッキーにも表れ、ブラジャーやパンティ、きものやハイヒールのクッキーなど意表をつくデザインでファンを作る。

●自由自在な発想が魅力
卒業後、東京に出るという娘に両親は「仕送りはしない」と言いつつも、心



名ファッションブランドやミュージシャンなどからも注文が入る。依頼が来ると希望を聞き、デザインを考える。追い込まれるとアイデアが閃く。下描きをし、クッキーの型も自分でこしらえる。クッキーを焼いて、1人で2百個、3百個のクッキーと向き合う。

「アイシングをしている時はもうモグラみたいに籠もって1つ1つ描いていきます。デザインは小学生や中学生のノリが好き」と笑うが、地道な職人仕事。細かい作業は集中力と忍耐力が決め手だ。

現在は子育て中のママでもあるAIさん。いくつかお店を持つのが夢。親孝行をしたい。お菓子を売って地元にも貢献したい。母校をはじめ県内の高校生にスイーツ作りのワークショップができたらと思いがふくらむ。

「自分がどう生きていきたいのかが大切で学歴じゃない。楽しく生きるの自分のメンタル次第と若い人に伝えたいですね。さまざまな方との出会いがあつて今がある。感謝の気持ちでいっぱい」と笑顔で話す。一緒にいるとガッツが湧いてきた。



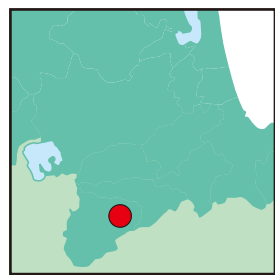
〈執筆者紹介〉
清水典子プロフィール

神奈川県平塚市生まれ。昭和54年から青森県弘前市に移住。子育ての傍ら、無農薬栽培を行う農家の支援活動、環境を守る市民運動、PTA活動などをしてきた。リンゴ園で働く。平成5年より陸奥新報文化部に勤務。2年のアルバイト期間を経て正社員となり、平成10年より文化部次長、14年より論説委員となる。津軽に生きる女性たち取材した「私的に素敵」などの企画記事を担当してきた。平成19年5月よりフリーライター。著書に「私的に素敵・津軽の女性たち」「夢追い人」「童話の食卓へようこそ」「心の四季」聞き書き小野正文「故土津軽」「弘前の和菓子」などがある。ブログ猫の時間
<http://blog.livedoor.jp/necorima/>

お盆から少し遅れて弘前に帰りました。

弘前に帰るときに掛けているのは、なるべく公共交通機関を使うこと。昨今、地方移住が人気で各県それぞれ都会から地方への移住を呼びかけています。移住を考える時、さまざまなことを想定するでしょうが、自家用車を使わずに暮らすことができればどうかは重要です。

夏の始め、知人のお母さんが大きな自動車事故を起こしてしまいました。90歳という高齢のドライバーでした。便利な車に頼る生活だったので。地方では尚のこと、車は必需品です。年老いて、自動車の免許を返納しても支障なく過ごせ、行きたい所に行く暮らしが維持できるかどうか。駅からホテルまでは100円バスで移動。市場「虹のマーケット」までは徒歩。弘南鉄道にも乗りましたが、本数が少ないのが少し残念です。公共交通の充実はある高齢化社会にとっても大切な課題だと感じました。



[田子町]

青森県の最南、岩手と秋田に隣接する田子町は、面積242平方キロメートル、人口約5500人。日本一のにんにくを誇る田子町では、にんにくに関するイベントを多く開催している。その中の一つ、「第33回にんにくとべごまつり」が9月29日30日、創遊村2019スキートで行われる。田子牛の丸焼きやバーベキュー目的に毎年たくさんの人が訪れる。今年、にんにくが縁で姉妹都市を提携した、米国ギルロイ市との提携30周年を記念し、ギルロイ市の炎の料理人が参加し、パフォーマンスをする。

ほかに町内外からのたくさんの出店や、楽しい催し物があり、みどころ満載のまつりだ。この秋、町政施行90周年を迎える田子町。スノーピーみたいな「みろくの滝」があり、環境省の夏星空観測で日本一星空がきれいに見える町に選ばれ、「日本で最も美しい村」に登録された。空気が澄んで静寂が心地いい、魅力あふれる町なのだ。牧歌的な景色と、にんにくを堪能するために訪れてみてはいかがだろうか。

市町めぐり



多くの人で賑わう「にんにくとべごまつり」



にんにくとべごまつり

街角インタビュー



田子町にんにく国際交流協会
総務課長 佐藤 恵子さん

ガリックセンターでは、にんにくはもちろん、にんにく粉末入りの炭酸飲料「ジャッツタッコラ」や「ガリックジャン」など、約100種類のにんにく加工品を販売しています。レストランでは、新ご当地グルメ「ガリックステーキごはん」をはじめ、「にんにくラーメン」「にんにくソフト」が美味しいですよ。青森県内で唯一、にんにく尽くしのスポットで、おいしくて体にいい野菜としてだけじゃなく、にんにくの楽しさも味わっていただければ嬉しいです。



Takiko Café

川名 美夏さん

田舎暮らしに憧れ、地域おこし協力隊として東京から田子町に移住し、3年前、創遊村にTakiko Caféをオープンしました。素晴らしい景色の中で、エゴマ油の搾りかすで作った無添加の焼き菓子やシフォンケーキを味わいながら、手作りの楽しさを体験してみませんか。クレソンやにんにくなどの手作りドレッシングも人気です。タプコマルシェの事務局でもあり、次回の開催は10月20日21日です。気軽に遊びに来てください！



みろくの滝



田子牛の丸焼き

おらほの一番

水陸両用バスで、レッツスプラッシュ!

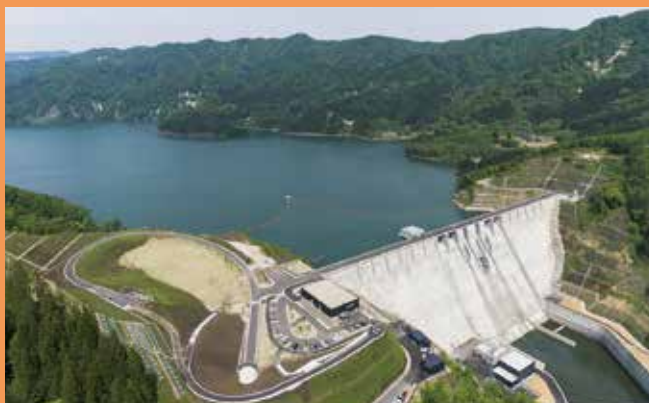
東北初の水陸両用バスは、文字通り陸路と水路を走るバス。窓ガラスがないから風を直接体感でき、バスよりも背が高いので眺めがいいんです。乳穂ヶ滝や目屋溪谷などを眺めながらドライブすると、約15分で湖に到着。バスに乗ったまま「レッツ、スプラッシュ」の掛け声で、津軽白神湖の中へ!その瞬間の水しぶきは、大自然のアトラクション。ゆったりと湖上遊覧が楽しめます。乗車記念カードの特典付きで、ネット限定「食事券付」乗車券も販売されています。



津軽白神ツアー
西目屋村大字田代字神田219-1
TEL.0172-85-3315
<http://suirikubus.jp/>

津軽ダムの頂上と内部を見学!

津軽ダムは、岩木川流域の洪水や水不足を和らげようと、目屋ダムの下流側に隣り合って建設されました。その高さは97.7メートルで、青森県観光物産館アスパムの約1.3倍!湖の大きさは5.1km²で、弘前公園の約10個分もあります。5人以上のグループで、事前に予約をすれば、ダムの内部を職員の案内で見学することもできます。巨大なダムの天端(ダム頂上)と、堤体内部(ダムの内部)をのぞいてみませんか!



岩木川ダム統合管理事務所
【お申し込みはFAXまたはメールで受付】TEL.0172-85-3035
FAX.0172-85-3061 メールアドレス.tugaru@thr.mlit.go.jp

世界にひとつだけのオリジナルBUNACOを作ろう!

いまや、日本のインテリアブランドとなったブナコ。白神山地のシンボルでもあるブナの木を無駄なく使った製品は、テーブルウェア、照明、インテリアグッズなど多彩な商品が揃っています。西目屋工場では、工場見学したのちに、うつわ作りに挑戦します。職人さんが直接教えてくれるので、とっても楽しいですよ。自分の手で造形の楽しさと、モノづくりの喜びを体験してみてください!



ブナコ株式会社西目屋工場 西目屋村大字田代字稲元196 TEL.0172-88-6730

白神の郷・西目屋村で
アウトドアライフを満喫!
岩木川の源流、世界自然遺産・白神山地をはじめ、津軽ダム、3つの温泉など、豊富な観光資源を持ち、ユニークな活動が注目されている西目屋村。白神山地を体感できる自然の中で、様々なアクティビティを楽しんでみませんか。

ラフティングを体験しちゃお!

白神山地に源流を持つ、岩木川をゆったり下るラフティングです。時々浴びる水しぶきも気持ちいいですよ。エメラルドグリーンの川に揺られながら見上げる自然は絶景です。



カヌーとラフティングのエイグローヴ Canoe & Rafting A'GROVE
西目屋村大字田代字稲元228-5
TEL.080-2836-1735

カヌーで大冒険!

広大な津軽白神湖へ漕ぎ出すカヌー体験教室や、暗門川、津軽白神湖をカナディアンカヌーで散策するコース、大好きなわんこと一緒にツーリングするコースなどがあります。大自然の中、心地よい風に吹かれてみませんか!



カヌーとラフティングのエイグローヴ Canoe & Rafting A'GROVE
西目屋村大字田代字稲元228-5
TEL.080-2836-1735

水源の郷で「白神そば」打ち体験!

水がきれいで、昼と夜の寒暖差が大きい西目屋村でとれたそばは、「白神そば」と呼ばれ、栽培から製粉まで、すべて村内で行われています。そんなメイドイン白神のそば粉で、そば打ちを楽しんでみませんか。自分で打ったそばの味は格別ですよ。



ブナの里 白神公社 味な工房
西目屋村大字田代字神田219-1
TEL.0172-85-2911

西目屋村では他にも、透き通った川の中を歩いたり、泳いだり、水流に身を任せるなど、白神山地でしかできない贅沢な川遊びや、沢歩き、インストラクターが丁寧に教えてくれる巨大ブナへの木登り、スノートレッキング&スノーモービルなど、様々なアクティビティが、あなたを待っています!詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。 ■白神カレンダー <http://shirakami-cal.jp/>

健康

73 ぎっくり腰(急性腰痛症)

正式名称「急性腰痛症」と呼ばれる「ぎっくり腰」は、前かがみになる、物を持ち上げるなど、ほんの少しの体の動きで、突然想像もしない激痛が起こって発症します。

原因は、はつきりしておらず、人によっても異なります。背骨の変化、椎間板の断裂、腰椎の腰間関節ねんざ、靱帯の軽い損傷から骨のゆがみ、腰の筋肉の弱り、過度なスポーツによる筋肉負荷など多岐にわたり、若くても、運動をしていても、腰に負担が蓄積されるときぐり腰になる可能性があります。

弱まっていきます。ひざを曲げて横向きになったり、ひざの下に毛布などを入れて、腰に負担がかからない姿勢で休みましょう。痛い部分にシップをはったり、冷たいタオルをあてるのもいいでしょう。しかし、どんな姿勢でも痛みや、発熱を伴うときは、他の病気の可能性もあるので、早めに整形外科を受診してください。

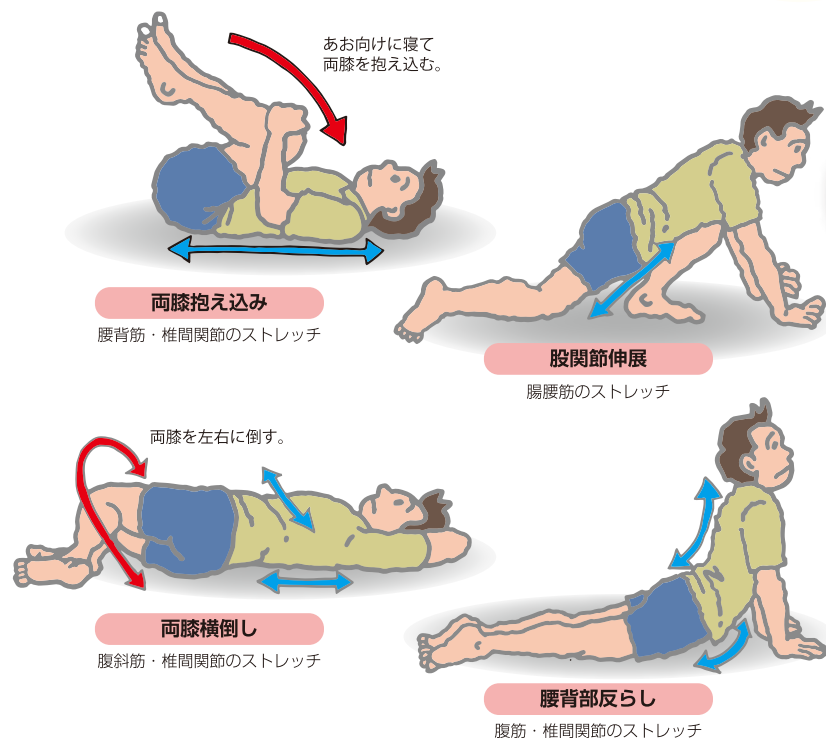
予防方法としては、日頃から自分の体の動きや姿勢に気をつけたり、筋力や柔軟性を身につけることが必要です。また、床の物を拾うときは腰を曲げるのではなく、膝を曲げて腰を落として拾う、腹筋や背筋を十分に鍛える、股関節を柔らかくし、腰の負担を分散させることが大切です。



健康法

腰の痛みを予防するには、日頃から良い姿勢を保ち、太っている人は減量し、背骨のまわりの筋肉を鍛えることが大切です。

そこで今回は、効果的なストレッチを紹介します。



あいちゃんの読んで得だね!

今回「やすらぎ」の取材で訪れた西目屋村と田子町の、とおき情報をお届けします!!

西目屋村で世界自然遺産・白神山地を散策しよう

《西目屋村》

世界自然遺産登録25周年を迎えた白神山地。その素晴らしさを体感できる3つの散策ルートをご紹介します。

暗門溪谷ルート

暗門の滝まで、川沿いを歩くルートです。今年の夏、川に木板を渡したことで、初心者でも第二の滝まで歩けるようになりました。見事な滝に癒されてみませんか!



世界遺産の径ブナ林散策道

初心者でも気軽にブナの森を散策することができるコースです。

自然観察歩道コース

世界自然遺産地域を一望し、樹齢約400年、高さ約30メートルのブナの巨木「マザーツリー」に会う、少し上級者向けのコースです。前半はのんびりブナ林を散策し、後半はハードな山道。津軽峠から望む白神山地の大パノラマは最高です!



《田子町》

素晴らしい風景の中、県内外の手作り作家さんが大集合する「タブコブマルシェ」が10月20日21日の2日間、タブコブ創遊村で開催されます。



革製品からビーズ、布小物など、約30店が出店。ワークショップも行われ、いろんなもの作り体験できますよ。美味しいフードも用意されているので、お昼は手ぶらでOK!です。

タブコブマルシェ事務局の川名美夏さんは「作って遊ぶを本気で楽しんでみませんか」と話していました。



タブコブ創遊村

田子町田子川代ノ上ミ66-39
タブコブマルシェ事務局 川名美夏
TEL.080-6645-7227

西目屋村役場

西目屋村大字田代
字稲元144
TEL.0172-85-2111

あいちゃんのほのぼのコーナー

— 途中下車禁止の巻 —



《西目屋村》

♡白神山地の入口、「アクアグリーンビレッジANMON」で、世界自然遺産登録 25 周年を記念して今年誕生したのが「暗門の滝カレー」。

白髪ネギが滝、サバのフリッターが岩、カレーは滝壺、西目屋産のレタスやブロッコリーはブナ林をイメージ。11 月上旬まで数量限定販売されているそうです。



♡「Beech にしめや」のレストランでは「津軽ダムカレー」をいただきました。白いご飯は津軽ダム、豚カツは上流の目屋ダム、ルーはダム湖、レタスブロッコリーは、白神の緑を表しているんだって。カツがサクサクでした。



♡取材こぼれ話

♡西目屋と言えば「白神そば」。昼と夜の寒暖差が大きいから、おいしいそばに育つそう。「Beech にしめや」のレストランでは「白神ざるそば」、白髪ねぎを滝に見立てた「暗門の滝そば」、「冷やし山菜目屋そば」、おそばにぴったりの「舞茸の天ぷら」を味わいました。



♡更に、このレストランのおすすめは？と訪ねたら「めえ〜や味噌ラーメン」とのこと。「山の幸味噌ラーメン」も、いただきました。



♡デザートは「BeFavo」のジェラート&ソフトクリーム & ワッフル。白神山地の花の蜜で作った生はちみつをトッピングしたら、もっとおいしく、濃厚なスイーツになりました。



♡西目屋のお土産も「Beech にしめや」で。「幾三米」は、西目屋村の「好きですふるさと親善大使」を務める歌手の吉幾三さんが、役場近くの水田で自ら育てた「まっしぐら」だそうですよ。



♡あれっ、クッキーにも吉幾三さん！このクッキー、水陸両用バスや津軽ダム、マスコットキャラクターが可愛くプリントされ、美味でした。



♡ほかにも、白神酒造の純米酒、リンゴジュース、ジャム、そしてソフトクリームのコーナーでは「白神生はちみつ」もありました。



《田子町》

♡田子町を散策すると、あちらこちらで見かける「にんにくアート」。さすが、にんにく日本一の町ですね。



♡ランチタイムは、田子町ガーリックセンターへ。もちろんいただいたのは「田子ガーリックステーキごはん」。いろんな味が楽しめて、とってもユニーク。にんにく料理、みんなで食べれば臭くない！



♡ほかにも、おすすめのにんにく料理があるということで「にんじゃあ麺」、「田子のほっくり丸焼きにんにく」、姉妹都市ギルロイ直伝の「ガーリックフライドポテト」をいただきました。ホクホクした田子のにんにく、ほんとうにおいしかったです。そしてとっても元気になった気がします。ちなみにデザートも「にんにくソフト」でした。



♡みなさんは「ジャッツ タッコラ」って知ってる？これはガーリック × コーラの炭酸飲料。お味は？ぜひ試してみてください。ガリスデごはんにもついてきます。



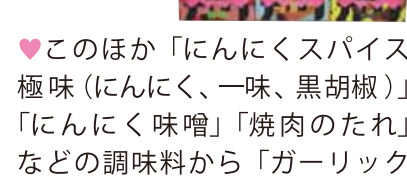
♡ガーリックセンターでは、約 100 種類のお土産品が並んでいました。ひときわ洒落ていたのが「ガーリックジャム」。田子町産のにんにくのみを使用し、食品添加物など一切使用せずに作った渋谷育ちのジャムで、お砂糖の代わりに調味料に混ぜても使えるそうです。



♡「にんにこちゃん」はにんにくの粒を一度酢に漬け込み、4 つの味にしたもの。パッケージも可愛いね。



♡ポップな「ガリゴリ」は、3 種類のにんにく風味のプレッツェル。ブラックペッパー味は、ビールにもおやつにも GOOD! でした。



♡このほか「にんにくスパイス極味（にんにく、一味、黒胡椒）」「にんにく味噌」「焼肉のたれ」などの調味料から「ガーリックスイートパイ」「にんにくソフトクリームキャラメル」「にんにく焼酎どでん」、にんにくと赤ワインをブレンドした「クロシュ」などの甘いものからお酒まで、全てにんにく尽くしでした！

